

峰のひかり

発行人
 社会福祉法人 七峰会
 理事長 成田 悟朗
 〒036-8356
 青森県弘前市大字下白銀町21-8
 電話 (0172) 33-8861

発刊に当たって



七峰会理事長
成田 悟朗

七峰会経営の知的障害者施設の拓光園、拓心館及び身体障害者施設の山郷館、旭光園並びに老人福祉施設サンアップルホームが、それぞれ施設ごとに入所者の近況報告を中心に機関紙を発行しておりますが、このほど法人の広報紙として、新たに平成十一年から総合機関紙「峰のひかり」を各施設交替で隔月に発行することとなりました。

この機関紙は、入所・利用者のご家族をはじめ、後援会、地域社会の方々に対し各施設の全体像について広くPRすることを目的とし、さらに介護保険をはじめ大きく変わろうとする社会福祉の動向に注目し、今後のあり方について明らかにしようとするものであります。

少子・高齢社会に突入した今後の社会福祉は、国・地方公共団体の責任にとどまることなく国民全体の問題として抱えて行かねばなりません。これらの課題を踏まえて、総合機関紙「峰のひかり」は、その試みのひとつとして生まれました。

まだ内容は荒削りのところであり、各方面からのご批判を頂き、これを啓発激励したいと思います。この小さな営みが幾らかでも皆様のお役に立つことができますなら幸いです。

サンアップルホーム 全国にデビュー



平成11年2月13日、弘前市雪灯籠まつり会場で行われたあの話題の「筋肉番付・だるま7」に職員2名が出演。2月27日番組が全国に放映されました。ハンマー役のデイサービス主任新谷金次郎、ナビゲーターの在宅介護支援センター看護婦小山内行子組は惜しくも3段目で敗退。しかし、デイサービス利用者の方々を中心に揃いのほっぴ姿での応援は大いに番組を盛りたてました。中でも、「岩木山の神様ッ、頼むッ」と声援を送っていただいた高谷さん、ありがとうございます。次回は、神様のご加護をうけて制覇します。また、けっぱるぞーッ！

ウオー！これが男だッ！

平成11年2月16日、弘前市鬼沢地区で毎年行なわれている伝統行事「裸参り」にデイサービス職員、野呂隆文と特養ホーム職員、原田一範が参加しました。当日は気温マイナス4.8度。水を張った大樽にスコップで雪が入れられ、益々寒さが伝わります。「ちゃっぶん、ちゃっぶん」と音がする中、気合いとともに入り、笑顔でこたえます。これを10回繰り返すと寒さを感じなくなるそうです。「サイギ、サイギ」のかけ声を響かせ地区内を練り歩き、無事、神社に大しめ縄を奉納しました。私たちは、地元との強い絆で結ばれており、相互にますます協力を深めていきたいと思えます。



サンアップルホーム

特別養護老人ホーム

☎ 97-2111

岩木山を真近かにひかえ、りんご畑と自然の美しさに囲まれた弘前市高杉に当ホームがあります。こちらでは、常時お世話を必要とする、おおむね65歳以上の高齢者の皆様が入所、利用されています。私たちは、ご本人や家族のご要望や願いを大切に、一人ひとりに合った援助を心がけ、日常生活の介護を充実させることは勿論、一人ひとりの心のケアを大切にすると共に、健康と安全を守り、安心して暮らせる施設サービスを行います。

デイサービスセンター

ベテランの看護婦による健康チェックや健康相談は安心この上なく、温泉と見まごうばかりの豊富な湯量で、広くゆったりとした浴室でリラクセス。また、こころ配りの素晴らしい寮母による介護は、心地よさが抜群。昼食は季節感あふれ、おいしさはこの上なし。こんな中で、仲間づくりをしながら、レクリエーションや趣味活動に生活の喜びを満喫できる、そんなデイサービスを行っていますので是非ご利用下さい。

サンアップル在宅介護支援センター

☎ 97-2131

当センターは、平成10年3月15日開所

拓光園

活動開始!

足どりの遅れていた今年の桜前線も、ゴールデンウィークを前にしてようやく津軽の里に到着したようです。今年創立26年目の春を迎えた岩木町弥生に在る知的障害者更生施設「拓光園」の敷地には、冬の大雪を思い出させる残雪が、まだあちこちに見られてはいますが、100名の利用者の方々は春の息吹に皆心躍らせ、新年度の歩みをスタートさせました。

「新作業班編成」

今年度の拓光園は7つの作業班が編成されています。岩木町熊島の拓心館の敷地内で陶芸作品の創作に励んでいる「陶芸班」、りんご箱の製作に精を出している「箱打ち班」、サンアップルホームに隣接する農場を耕やし、農作物や花卉を栽培している「農耕班」、拓光園横の防風林を利用して椎茸やなめこを栽培している「椎茸班」、グラウンドの温室で柏の葉から腐葉土を作っている「腐葉土班」、園芸活動で園内外の美化に努めている「園芸療法班」、そして今年度新たに編成されたのは、地域から集めた廃油を利用して石けんを作る「石けん班」です。利用者の方々は昨年度の末に自分の希望する作業班を選び、新年度を迎え担当職

員と共にそれぞれの活動を開始しました。「社会参加活動で地域サービス」

拓光園では、これまでも青空市場やカルチャーロード等の場を借りて農作物や陶芸等を販売し、日常の活動内容を、外部の方々にも紹介して来ましたが、昨年から、近隣の店や岩木町五代にある「四季彩館」に椎茸班が栽培した椎茸やなめこ、陶芸班が創り上げた陶芸を出荷し、それぞれ好評を博していました。特になめこは品質が良いと評判で、出荷後数時間で売り切れになったこともあった程です。今年度も初夏を迎える頃には、良質の椎茸やなめこが「四季彩館」に並ぶ事と思えますので御期待下さい。

拓光園の製品は、18歳から77歳までの利用者の方々が、日々の活動の中で働くことに喜びと生きがいを見だし、どれも丹精こめて生みだしたもののばかりです。機会がありましたならば是非足を運んでご利用下さい。



☎ 96-2331

地域生活者支援の拠点

☎ 82-4520

通勤寮 拓心館

(1)「通勤寮」って、どんなところ?!

通勤寮とは、15才以上の働いている知的障害者の方々に生活の場所を提供し、対人関係、金銭の管理、余暇の活用その他地域社会で生活するために必要な助言や訓練を行うことを目的としています。

利用される方々は、一定期間通勤寮において訓練を行うことにより、地域生活の獲得が期待できる人であり、利用期間は、原則として2年以内となっています。

このように通勤寮は、就労している人たちの自活訓練を行う有期限の通過施設であり、現在拓心館には男子11名、女子9名の合わせて20名が地域生活の獲得を目指して暮らしています。

(2)通勤寮以外の拓心館グループの活動
通勤寮の他に、地域社会での生活を支援するため次のような活動を展開しています。

- ・地域生活援助事業Ⅱグループホーム
現在弘前市内に3ヶ所のグループホームを開設し、男子10名、女子4名の計14名が街の中で暮らしています。

・地域生活支援センター活動

地域において単身で生活している知的障害者の方々の相談に応じ、地域生活に

し、弘前市内にお住まいの高齢者の方々や障害のある方々のご相談に応じています。介護用品・福祉機器の取扱いや、介護方法の説明、高齢者向け住宅の増改築に関する事、保健・福祉サービスについての情報の提供、ショートステイの受付相談窓口として活動しています。また、介護についての各種のご相談につきましては、24時間体制で対応しています。当センターは日常生活で身体や心に障害のあるためにお困りの方は、ホームヘルプサービスをご利用下さい。ホームヘルパーが直接訪問して、家事のお手伝いや入浴等の介護の援助を致します。

「快挙」25名のケアマネージャー合格！

平成10年度介護支援専門員試験に25名の職員が合格しました。来年4月にはじまる介護保険では、在宅福祉サービスや施設サービスを利用するためにケアマネージャー（介護支援専門員）が必要となります。具体的には、要介護認定の訪問調査の実施やケアプラン（介護サービス計画）の作成とマネジメントについてもケアマネージャーが行います。私たちは地域の皆様へ、地域福祉サービスを円滑に図るため、この25名を動員し法人をあげて介護保険に取り組みます。永年にわたる福祉サービスの実績と経験を持つプロ集団に是非ご依頼下さい。

社会就労センター

旭光園

真心こめた製品を!!

旭光園は、身体の重い障害の為、一般就労が困難な人達が、利用する施設です。入所や通所により、生産活動を通して収入を得、必要な援助を受けながら、自立をめざすことを目的としています。

仕事の内容は、スーパーマーケットで使う買い物袋やゴミ袋などのポリエチレン加工、色々な商品に貼つてあるシール・ラベルの印刷加工、レストラン・食事処などの割箸完封加工、弱電部品の検品・組立を行う軽作業です。利用者の方々には、これらの仕事に従事することで工賃が支払われています。

生活面では、園主催の旅行や納涼祭などの各行事や、利用者組織による活発な自治会活動により、潤いのある生活を送っています。

旭光園は、尾上町の名所盛美園の近くにあり、周辺には尾上中学校、尾上町社会福祉協議会があるため、沢山のボランティアの方々に来ていただいたり、町で行われる行事、活動に参加させてもらっています。

利用者の方々は、不自由な身体であっても、根気強く、熱心に日々働き、地域

参加を求め、自分の暮らしを少しでも豊かに、そして、自分の働きが、社会で役立つことに喜びを感じ活動しています。さらに、大きな喜びは、一人つきりではなく、互いが心から信頼し合える仲間と一緒に暮らしているという事です。是非一度、旭光園にお越しください。



ホールでの余暇風景

ご注文待っています!

- ・ レジバック、ゴミ袋
 - ・ 各種割箸、ホルダーケース
 - ・ シール・ラベル印刷 他
- TEL 0172-57-5155
FAX 0172-57-5156

必要な支援を行うことを目的として、現在32名の地域生活者の支援活動を行っています。

・ 生活自立訓練事業

通勤寮を築立った方々が地域社会で生活するために実習する生活場所として、八千代ホーム、コーポラスよろこびを設け、現在23名の方々が法人との自由契約により生活しています。

・ 就労支援センター活動

就労先の開拓と、現在お世話になっている21ヶ所の職場を訪問し、就労先との連絡、調整等の援助活動を行っています。

・ 就労前訓練指導施設「勇心学園」の運営

通常の雇用、就職が困難とされる知的障害児・者の方々の就労の場及び一般就労に向けて訓練する場として、現在在宅より7名の方々が利用しています。

詳細については次号より触れ、少しでも皆様のお役に立ちたいと思っています。尚、拓心館グループと関わりのある方々の状況を図にすると、次のようになります。

利用者の状況





デイサービス センター

介護型

ぶらっと来てみませんか？

生活する施設が不足する一方で、住み慣れた地域で、家族と共に生活したいという意識が高まっています。

身体障害者の介護型デイサービスは、常時介護を必要とする身体障害者を対象として制度化された在宅サービスの一つです。

山郷館では、平成8年の秋から小規模型でスタートしましたが、入浴等の介護サービスや機能訓練を希望して利用される方が年々多くなり、平成10年からは、より多くの方々へ利用して頂けるように



今日は気分を変えて相馬ロマンピアで楽しい一時を……

介護型へと移行しました。

介護型デイサービスは、全国的にみても数が少なく、あまり周知されていない現状にあります。今後は広報活動を通じて情報提供に力を入れ、地域で生活されている障害者の方々の抱える様々なニーズに出来るようなサービスを提供したいとスタッフ一同、張り切っています。

また、在宅で生活する障害者とご家族の支援にあたっては、既存のサービスを提供するだけでなく、相談援助体制を整備することが望まれています。

山郷館では、施設単独事業として、多様な障害や年齢、生活の中でのいろいろなニーズに添えていくために、24時間体制で相談に応じています。いつでもお気軽にご利用下さい。

ショートステイ

ご存じですか？

(身体障害者短期入所事業)

○家庭で介護されているご家族が、結婚式や旅行に出掛けたい時、休養したい時ショートステイ専用のベッドを準備しておりますので、宿泊して頂き、ご家族にかわって介護致します。ご利用できる期間は原則として一週間以内(一泊でももちろん大丈夫)ですが、期間延長もできます。また、ご家族の送迎が難しい時は施設で送迎致します。

七峰会後援会コーナー

ご利用中は、体の状態に合わせた入浴はもちろん、褥瘡予防のマットレスなども使用できます。できる限り家庭にいる時と同じように、という方もなんなりとご相談下さい。健康に配慮し、安心してご利用してもらえるよう、スタッフ一同、親身の介護に努めています。

三浦会長はじめ

石崎(新)・奥崎副会長等を選任

―七峰会後援会総会楽しく終了―
去る三月五日、緑ヶ丘温泉ホテルで定時総会が開催されました。

予定された審議事項①監査報告
②平成10年度事業報告並びに決算承認を求める件 ③11年度事業計画と予算案 ④規約の改正 ⑤任期満了による役員の改選 の各原案は満場一致議決されました。

特に会長からは「会員の会費納入について」・「組織は、法人と車の両輪」だとの組織強化と活動の方向について表明されました。総会後は楽しい交歓会で終了した。

新役員は

会長 三浦 清道(再)、副会長 石崎 宜雄(新)・奥崎 春雄(再)
会計委員 相馬 善則(再)、監事 福土 悟・木村 剛(共に再)
他10人の委員が選ばれました。

社会福祉法人 七峰会

知的障害者更生施設

拓光園

知的障害者短期事業

自治訓練事業

知的障害者通勤寮

拓心館

地域生活援助事業

生活自立訓練事業

地域生活支援センター事業

身体障害者療護施設

山郷館

身体障害者短期入所事業

山郷館デイサービスセンター

社会就労センター

旭光園

通所相互利用事業

特別養護老人ホーム

サンアップルホーム

老人短期入所事業

サンアップルデイサービスセンター

サンアップル在宅介護支援センター

ホームヘルプ事業

編集後記

「峰のひかり」の編集は、法人本部と各施設選任メンバーによる広報委員会が編集し七峰会が発行します。特集記事担当施設が中心に編集を行います。第1回目はサンアップルホームが担当しました。